

浸水想定区域等について

◎国管理「菊池川」の浸水想定区域について

・【L1】計画規模：マップに表示している

この洪水浸水想定区域図は、国（国土交通省菊池川河川事務所）が管理する菊池川及び岩野川、上内田川、合志川が大雨によって増水し、河川の堤防が決壊したときの浸水の状況をシミュレーションにより示したものです。

洪水の規模は、100年に1度の確率で発生する大雨（菊池川流域の12時間総雨量285mm）を想定しています。

・【L2】想定し得る最大規模：マップ72ページに掲載している

この洪水浸水想定区域図は、国（国土交通省菊池川河川事務所）が管理する菊池川及び岩野川、上内田川、合志川が大雨によって増水し、河川の堤防が決壊したときの浸水の状況をシミュレーションにより示したものです。

洪水の規模は、想定し得る最大規模の降雨（菊池川流域の12時間総雨量545mm）を想定しています。

◎熊本県管理河川の浸水想定区域について

・熊本県管理河川の浸水想定区域については、当該河川の河道の整備状況等を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる降雨である概ね30年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、当該河川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。

なお、このシミュレーションの実施にあたっては、想定を超える降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

・対象河川及び前提となる計画降雨

対象河川	計画降雨
菊池川水系岩野川、男岳川、浦方川、枝川内川、奥山川、小坂川、西堂の原川	岩野川流域の時間雨量84mm
菊池川水系上内田川、木野川、初田川、池永川、五郎丸川、山内川、広谷川	上内田川流域の時間雨量84mm
菊池川水系坂田川	坂田川流域の時間雨量80mm
菊池川水系千田川、宮原川、岩原川、新岩原川、柿ノ木川、菊志川	千田川流域の時間雨量80mm
菊池川水系方保田川、前田川、川住川	方保田川流域の時間雨量80mm

※1 国管理の菊池川と熊本県管理河川の合流部付近など浸水想定区域が重複する区域については、最新である菊池川の浸水想定を優先して調整を行い表示しています。

※2 菊池川浸水想定区域図については、菊池川河川事務所ホームページ（<http://www.qsr.mlit.go.jp/kikuti/>）の「防災情報」に掲載されています。また、県管理河川の浸水想定区域については、鹿本地域振興局土木部工務課（電話：44-5153）にお問い合わせください。

◎ため池はん濫想定区域について

・地震や大雨によりため池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

※詳細なハザードマップを山鹿市ホームページに掲載しています。お問い合わせは、山鹿市役所農林整備課（電話：43-1571）にお願いします。

◎土砂災害警戒区域（通称イエローゾーン）とは

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じる恐れがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われる区域です。

◎土砂災害特別警戒区域（通称レッドゾーン）とは

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われる区域です。

※詳細な指定区域については、熊本県ホームページの土砂災害情報マップ（<http://sabo.kiken.pref.kumamoto.jp/website/sabo/kuiki/>）に掲載されています。お問い合わせ等については、鹿本地域振興局土木部工務課（電話：44-5153）にお願いします。

◎山地災害危険箇所とは

全国における山地災害発生状況から、地形や地質、植生状況等の条件により、統計的に森林の状態を評価し、崩壊や土砂流出等の危険が高いと考えられる箇所のうち、人家、道路など保全対象への影響が大きい地区を示したものです。

※土砂災害警戒区域との重複等があるため今回のマップに表示しておりません。熊本県の山地災害危険箇所マップ

（<http://sabo.kiken.pref.kumamoto.jp/website/chisan/map/>）と九州森林管理局ホームページの山地災害危険地区情報（<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/tisan/kiken-erea/kumamoto/kumamoto.html>）をご覧ください。